

京都から発泡技術の パイオニアとして 「京フォーム®」を世界へ



Kyoto's pioneer foaming technology
bubbles the World. Since 1965



「京フォーム®」は三和化工株式会社の登録商標です。

小誌の題名である『**京 FOAM**』は、当社発祥の地、
京都を意識して商標登録している「京フォーム®」からきたものです。
当社が発泡体のパイオニアとして長年作り続けている発泡体が、
世界の京都を代表する Made in Kyoto の発泡体の総称として
親しんでいただけるようにしていきたいと考えています。

〔本社〕〒601-8103 京都府京都市南区上鳥羽仏現寺町56番地
TEL：075-671-5430 FAX：075-671-4495

〔関東支店〕〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目20番17号 押谷ビル5F
TEL：03-3567-0531 FAX：03-3567-0535

〔九州出張所〕〒819-0015 福岡県福岡市西区愛宕2-16-24
愛宕レジデンス502号 TEL：092-836-6551 FAX：092-836-6552

〔福井工場〕〒910-3138 福井県福井市石新保町第28号67番地の1
TEL：0776-85-1806 FAX：0776-85-1678

〔常州三和塑胶有限公司〕
江苏省常州市武进高新区凤鸣路22号
TEL：+86-(0)519-8622-6500 FAX：+86-(0)519-8622-6511

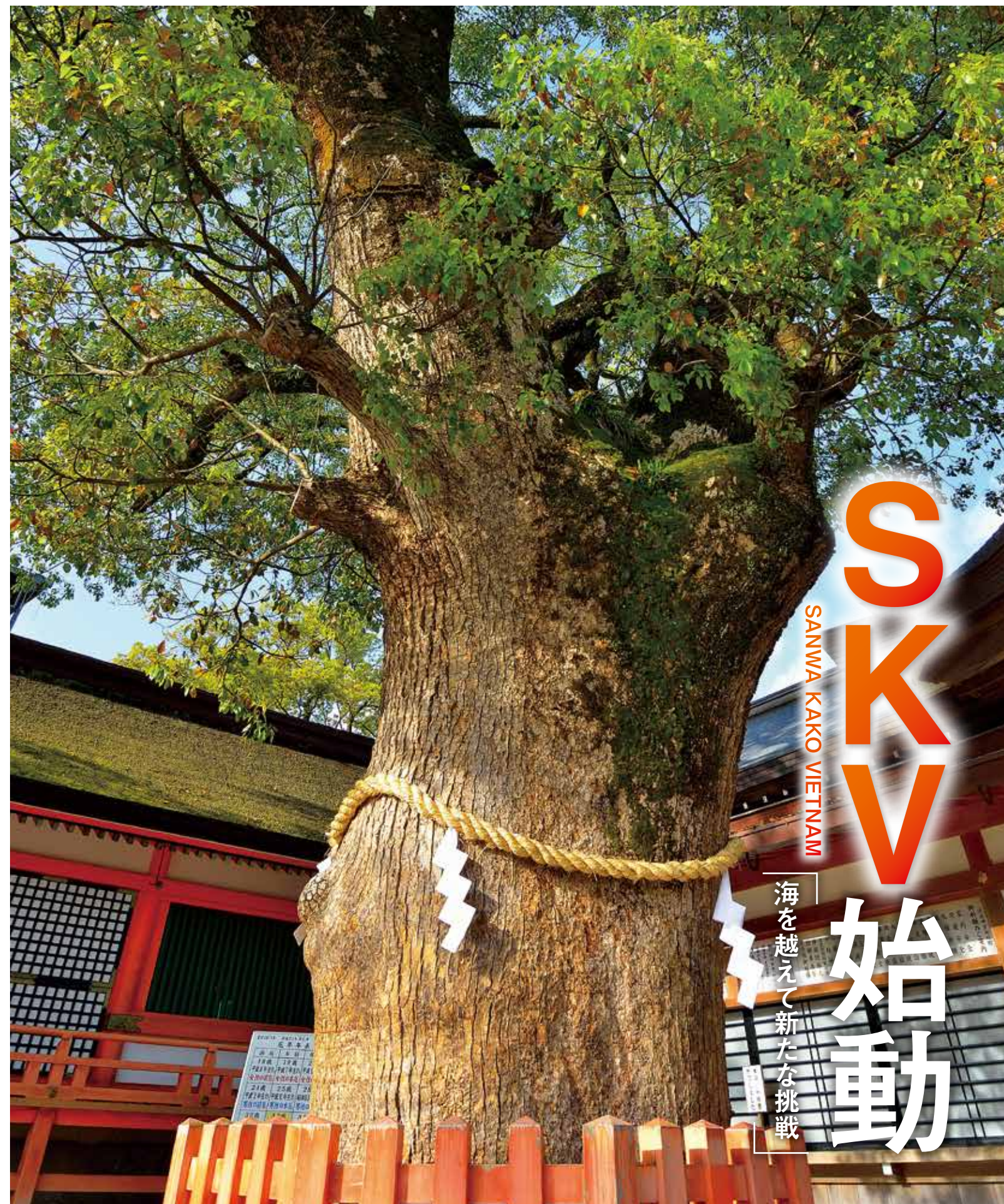
〔関西支店〕〒601-8103 京都府京都市南区上鳥羽仏現寺町56番地
TEL：075-671-5200 FAX：075-671-5133

〔中部営業所〕〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-12-5 (竹生ビル別館)
TEL：052-561-4068 FAX：052-561-4790

〔生野工場〕〒679-3311 兵庫県朝来市生野町真弓373の66
TEL：079-679-4405 FAX：079-679-4406

〔石岡工場〕〒315-8539 茨城県石岡市柏原4番4
TEL：0299-23-6631 FAX：0299-23-9867

〔SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD.〕
Road N3-2, Long Duc Industrial Park, Long Duc Ward,
Long Thanh District, Dong Nai Province
TEL：+84-(0)251-368-6391 FAX：+84-(0)251-368-6393



S
K
V
SANWA KAKO VIETNAM

始動

海を越えて新たな挑戦

発泡技術のパイオニアとして

世界に貢献します

三和化工株式会社 吉田 典生
代表取締役社長 *Norio Yoshida*

vol.4

CONTENTS

□ ごあいさつ 三和化工株式会社 代表取締役社長 吉田典生	02
□ SKV(SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD.) 始動	04
□ SANWA NEW PRODUCT INFORMATION	06
□ 京都探索(3) 京都タワー	10
□ 連載／知になる法律(4)	12
□ 会社紹介／ソーダニッカ株式会社	14
□ 三和NEWS／編集後記	15



「三和化工」

2018年は当社にとりまして、SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD. (以下SKV) の開業という大きな事業がスタートした記念すべき年になりました。会社を作るということは、お金があればできるわけですが、これから継続、繁栄させていくことが大変です。2018年10月17日、10時30分からSKVの開業式を行い、30名ほどのお客様にご参加いただき、無

事に式典を終えることができました。式典においては、ホーチミン日本商工会議所、門脇会頭のご祝辞をいただき、また夜の祝宴では在ホーチミン日本国総領事館、細谷主席領事からのご祝辞などを賜り、盛大な開業式を行うことができました。

さて、これからのSKVですが、当面は日本三和化工からの委託生産を行います。しかし、今年の3月以降はベトナム国内での需要があれば、販売も行いた

いと考えています。2018年度中は試験運転を予定していましたが、同年11月9日に日本への初出荷を無事行い、開業という式典に続き、実務ベースでもスタートを切ることができました。現在は、今年3月以降からの3直3交代制をめざし、人財教育に努めているところです。

国内では、福井工場に新設した粘着加工工場が2018年10月から試運転稼働をしていますが、今年はお客様のニーズにお応えできるよう質、量ともに本格稼働をめざして参りますので、よろしくお願い申し上げます。

また、「京FOAM」vol.3でご紹介しました、当社新製品「カラーポリモック」を使用した商品を4点作り、新市場、新用途開発のために2018年11月14日から16日まで東京ビッグサイトで行われた、インテリア・デザイン市場のための国際見本市「IFFT／インテリア ライフスタイル リビング」に出展いたしました。詳細は後の方で掲載いたしますが、「新たな視点でものを見る」ということが、いかにできていないかということに気づく大変良い機会になりました。当社のように「小ロット、多品種」を特徴にして仕事をしているメーカーとしては、発泡体の新市場、新用途開発は無限だと感じた次第です。

「経済」

一方、国外に目を向けると、2018年は米国トランプ大統領が中国に対して本格的に貿易戦争を仕掛け、新たな冷戦の始まりとも言われました。今年は日本経済にどの程度の影響が表れるか十分な注意が必要です。日米の二国間貿易交渉も始まり、どのような

結論に至るのか、大変不安な事柄が年初から山積している状態です。昨年末、当社に係る石油関連製品の業界では、イランの原油禁輸や、サウジアラビアのジャーナリスト殺害などがありました。今後の中東情勢がどのように動いていくのか、注視が必要と考えます。

今年は、4月の天皇退位と同時に31年続いた平成が終わり、5月の新天皇即位と同時に新しい年号がスタートする国民的慶事があります。また、10月には、消費税2%増税の実施があります。この頃には、2020年7月24日から始まる東京オリンピックの施設整備の遅れや、各種競技の話題などが出てくるのではないのでしょうか。

「人づくり」

近年、当社は新入社員、中途採用者、ベトナム実習生など、採用の機会を増やしています。そこで、2018年から思い切って新たな切り口で社員の人財教育を始めました。今までは役員が管理職者の講師、管理職者は一般社員の講師というように社内講師の方式をとってきました。しかし、従来の方式ではマンネリ化してきたことから、新たな組織経営をしていくために、外部の新しい知識や手法を取り入れる必要があるだろうということで、2018年から外部2社の会社をお願いして、「自分の考えを言える」人づくりをやってきました。今年もしっかりと実行していきます。技術立社としての三和化工を支えている「根幹経営」の元は「人づくり」です。

今年もこの基本を忘れず、1年間皆様と一緒に頑張ってください。今年もこの基本を忘れず、1年間皆様と一緒に頑張ってください。今年もこの基本を忘れず、1年間皆様と一緒に頑張ってください。

SANWA KAKO VIETNAM



SKV始動

SANWA KAKO VIETNAM

海を越えて新たな挑戦

「京FOAM」vol.2でもご報告させていただきましたが、2017年10月11日にベトナム国ドンナイ省のロンディック工業団地にて、SANWA KAKO VIETNAM CO., LTD.（以下SKV）の起工式を行い、建設中でした工場が完成に至り、2018年10月17日に開業式を迎えることができました。

2016年8月のベトナム国初視察から2017年9月に会社設立、2018年10月に開業式と、視察から約2年で稼働開始することができました。日系企業で、ベトナム国初視察から会社設立までの期間が2年というのは、あまり例のないスピードでの立ち上げだそうです。しかし、順風満帆に物事が進んだわけではありませんでした。この間苦労した点は、ドンナイ省の環境審査のヒアリングでした。ポリエチレン発泡の知見や、類似した他の企業の実績もなく、審査担当者との質疑応答に要する時間も積み重なり、環境申請許可書の発行までが思うように進まず、最初から建築が遅れ気味のスタートとなり、2017年10月の起工式に対して、本格的な建設着工は同年12月からとなってしまいました。

立ち上げ準備をしている中で、ベトナム国法規の理

解、文化、風習の違いなどすべてが未経験で、例えば日本では法規制改定など関係省庁から通達がありますが、ベトナムではほとんどありません。受動的な行動では情報は集まらず、能動的に行動することで情報を得るという非常に労力を使う日々でした。また、深刻な問題だったのが設備の搬入遅れです。日本に甚大な被害をもたらした台風の影響により、神戸港の浸水被害、船便の遅延、関西国際空港の閉鎖など、物的にも人的にも問題が発生し、設備の搬入が当初計画していたスケジュールより先延ばしになりました。その間、開業式を迎えられるか非常に心配でしたが、多くの方々からのご尽力を賜り、計画通り開業式を迎え、生産を開始することができました。先にベトナムに進出された企業様のアドバイスや企業間の垣根を越えた援助など、皆様のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

現在の稼働状況は、本社からの技術スタッフ常駐者による指導を受けながらの試運転も終わり、本格的な生産を開始しています。生産品目は6倍から30倍のポリエチレンフォーム（サンペルカ）です。また、ベトナムの祝日であるテト（旧正月）が明ける2月中旬の早い段

階で、日勤生産から3直3交代制の24時間稼働とし、生産キャパアップを目標にしています。2月にはスライス品での対応も可能にするべく、さらに日本からの技術スタッフを増員し、スライス技術の講習を行い、日本国内へのスライス品の供給について取り組んでいく計画となっています。本社より派遣された日本人技術スタッフ2名の常駐により、国内3工場（生野工場、福井工場、石岡工場）と同じ三和品質で製品提供ができる体制を構築していきます。

日本国内は、少子高齢化による労働者の減少や、働き方改革で労働時間の抑制など、労働環境が激変しています。当社も同じ問題を抱えています。SKVを軌道に乗せ、国内工場の負荷を減らし、納期対応の改善につなげることで、三和らしさである「小ロット、多品

種、小回り、スピード、親切、丁寧、共生、共育、提案、流行」が発展すると考えています。

営業面では、SKVを拠点として、当地ベトナムを含めASEAN（東南アジア諸国連合）での市場開拓を行い、販売加工を視野にいたった営業活動を展開していきます。SKVは、日本国内への供給以外にASEANへの物流拠点になるよう活動をしていきます。

最後に、SKVは当社社にはある「発泡技術のパイオニアとして世界に貢献します」を、まさに実践する工場となります。三和の苗木を林へ、林を森へと、当地ベトナムで築き上げるという決意も新たに飛躍の第一歩となるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。





COLOR POLYMOCK®

〔カラーバリエーション 全12色〕



ムーンライト

キンギョ

ハル

ナツ

オウム

アース

リーフ

ラベンダー

シロクロ

ローズ

オーシャン

エッグ

ディレクション・プロダクトデザイン：トラフ建築設計事務所 グラフィックデザイン：服部 一成
プロデュース：Material ConneXion Tokyo 写真：小川 真輝、healthy (巽 陽介)

「京 FOAM」vol.1と3に掲載しました、COLOR POLYMOCK（カラーポリモック）が商品化をする運びになりましたので、ご紹介いたします。

まず、COLOR POLYMOCKですが、デザイナー様と協議を行い、全12色をご用意いたしました。全12色の色名は、当社従来の色名と異なり、各色のもつイメージから名前を付けていただきました。いずれの製品も、色の組み合わせから、そのモノ、コト、また風景などを

連想できる色名で、とても馴染みのあるものになっています。

今回の掲載では、そのCOLOR POLYMOCKを使い商品化した物をご紹介いたします。

それらは、COLOR POLYMOCK コースター／クッション／クッションボード／クロックの4点です。商品化する色も、デザイナー様と協議を行い決定しています。

COASTER 〔コースター〕



Aセット：ローズ／ナツ／ムーンライト／リーフ
Bセット：アース／エッグ／キンギョ／ラベンダー
Cセット：オウム／オーシャン／ハル／シロクロ

CUSHION 〔クッション〕



ムーンライト／リーフ／キンギョ／ラベンダー／ハル／シロクロ／ナツ／ローズ／オウム／オーシャン／アース／エッグ

CUSHION BOARD 〔クッションボード〕



リーフ／ハル／オウム／オーシャン

CLOCK 〔クロック〕



ムーンライト／ハル／ナツ

これらの商品は、2018年11月14日（水）～16日（金）東京ビッグサイトにて開催されました、インテリア・デザイン市場のための国際見本市「IFFT / インテリア ライフスタイル リビング展」にて発表をいたしました。ご来場いただきました方々からも、非常に高評価を得ることができました。今回ご紹介いたしまし

た、COLOR POLYMOCKならびに展示会の写真は、新たに開設したCOLOR POLYMOCK専用ホームページに掲載していますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。

URL : <http://colorpolymock.jp>



今回の商品化に際しまして、株式会社トラフ建築設計事務所様と有限会社服部一成様のご協力により成功を収めることができました。

フッ素ゴム樹脂塗料含浸発泡体

オブシーラー OPF-100FR

開発経緯

当社は、過去にフッ素を用いた発泡体の製造を行なったことがありませんでした。すでに市場に流れているフッ素発泡体は高価であり、気軽に購入できる物ではなく、フッ素発泡体の製造メーカーも限られています。昨今、お客様より耐熱性、難燃性へのご要望をいただくことも多く、安価で機能性に優れた発泡体の開発をすべく、オブシーラー OPF-100FRの開発に着手しました。

独自性

フッ素ゴム樹脂塗料を、相性の良いオブシーラー（当社製のEPDM発泡体）に含浸することで、フッ素樹脂由来の機能性を付与できないか実験を重ねました。しかし、「発泡体の気泡の大きさ」と「塗料の粘度」がマッチしておらず、均等に含浸することができませんでした。対策として、オブシーラーの気泡を意図的に粗くした、**含浸用オブシーラー**を開発しました。また、独自に塗料の粘度を調整することで、塗料の浸透性を向上させました。この結果、含浸工程において、当社独自に開発した専用機械により、安定した再現性を生み出すことができました。

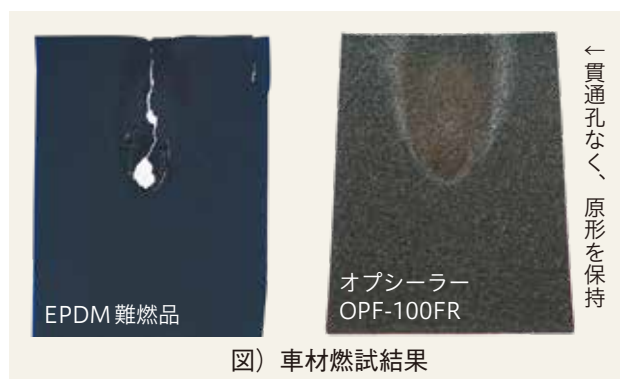
※当該製品（オブシーラー OPF-100FR）は、特許取得済みです。

各種物性

フッ素ゴム樹脂塗料を含浸したことにより、180℃環境下でも使用可能な**耐熱性**、右上図の通り**難燃性**を有しています。また、基材であるオブシーラー由来の**柔軟性**は保持しており、**耐薬品性**、**耐油性**においても優れた耐性をもつ素材に生まれ変わりました。

表）社内試験：各種燃焼試験

UL94水平燃焼試験	UL94垂直燃焼試験	車材燃試	酸素指数
HF-1	V-0	難燃性	35



単価

すでに流通しているフッ素発泡体は、フッ素樹脂を原料としているため、ニーダーなどの付帯設備をフッ素樹脂専用機械に置き換える必要があります。また、フッ素樹脂を保管する際、吸湿する恐れがあることから、フッ素樹脂の管理には専用設備を用意する必要があり、コストが発生します。ある競合他社のフッ素発泡体は、10mm厚×1,000mm×1,000mm角を1枚あたり約30万円で販売しており非常に高額です。そのため、買い手も、この1m角での1枚単位での購入は敬遠しがちです。一方、フッ素発泡体の開発を主として活動している某社は、2mm厚×300mm×400mm角で1枚あたり8,000円に単価設定し、ユーザーへの販売をされています。以上のことから、当社としても**最大サイズを300mm×400mm角に設定し**、ユーザー様への提案を検討しております。肝心の単価については、当社製フッ素発泡体は、オブシーラーに含浸加工を施しているため、同2社と比較し、**4割以上のコストダウン**に成功しました。

今後

発泡体を液体に含浸することで、新たな機能を付与することができます。何かご要望がございましたら、是非ご相談ください。

エチレンアクリルゴム

半連続気泡発泡体

オブシーラー OPA-150

基材について

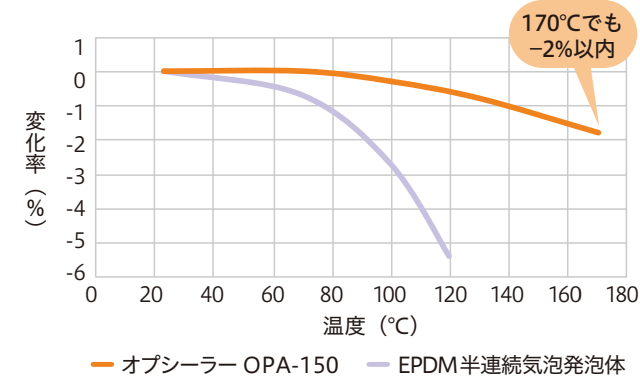
オブシーラー OPA-150は、AEM（エチレンアクリルゴム）を基材としています。AEMはACM（アクリルゴム）にエチレン基を導入しています。このため、シリコンゴムとクロロプレンの中間に位置する耐熱性をもち、耐油性についてはニトリルゴムには及びませんが、クロロプレンより優れた性能を有しています。



図）各種ゴム耐熱・耐油性

耐熱性

AEMの特徴を活かしたオブシーラー OPA-150は、耐熱性に優れています。EPDMを基材とする半連続気泡発泡体では、120℃の加熱寸法変化率は約-5%です。



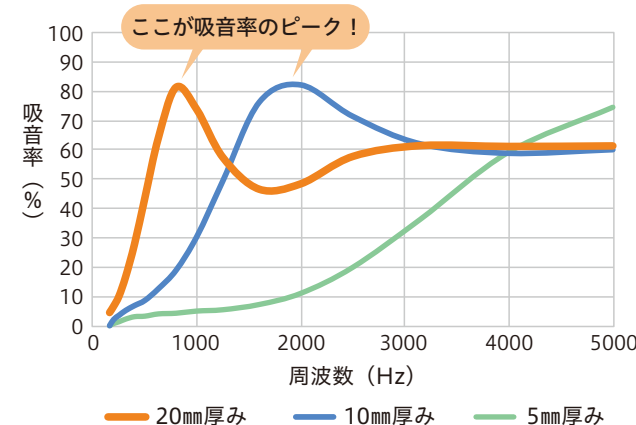
図）加熱寸法変化率の比較



しかし、AEMを基材とするオブシーラー OPA-150は、120℃では約-0.5%、170℃でも-2%以内に収まっています。

吸音特性

オブシーラー OPA-150は、半連続気泡構造のため、吸音性に優れています。**厚みを増すことにより吸音のピークが低周波にシフトします。**



図）オブシーラー OPA-150の吸音率

用途

オブシーラー OPA-150は高い**耐熱性**、**耐油性**を有し、**吸音性**にも優れており、かつ過酸化合物架橋のため**低金属腐食**という特徴を有しています。これらの特徴から、自動車、鉄道車両関係への展開などが期待されます。



Kyoto Tower

京都タワー

開業日：1964（昭和39）年12月28日 高 さ：地上131m
 総重量：800t（タワー部分のみ） 耐久性：風速90m／秒
 収容可能人数：400人（展望室）



京都の玄関口、京都駅の真正面にそびえる京都タワーは、1964（昭和39）年に開業しました。周辺の京町家の瓦を波に見立てて、京都市の街並みを照らし出す灯台をイメージして建てられました。タワーの造りは、東京タワーのような鉄骨ではなく、骨組みの無いモノコック構造になっています。厚さ12～22mmの特殊銅板を組み合わせることで筒状の塔体で力を受け止め、全体を支えています。この構造は、飛行機や船、生物では甲殻類のエビ、カニと同じ仕組みで、これまでの地震や台風でも損

害はなく安全性の高いタワーです。京都タワー内部の、地上100mに位置する展望室は、360度ガラス張り、回りは赤い鉄骨で補強されています。地上45mのフロアには、スカイラウンジがあり、京都の街並みや山並み、神社、お寺などを眺めながら食事を楽しめます。また、夏の風物詩の五山送り火を見るのにも最高の場所だと思います。2014（平成26）年に開業50周年を迎え、京都のランドマークとして、すっかり馴染みとなりました。

タワーを支えるビル部分は、複合

施設になっていて、ホテルや飲食店、お土産売り場があります。地下3階に大浴場があることは、あまり知られていません。朝の7時から営業しており、ご入浴のみの利用も可能ですので一度ご利用されてはいかがでしょうか。

2017（平成29）年4月に「街・駅に続く、3つめの選択肢へ。これまでにない、これからの京都。」をリニューアルコンセプトに、商業施設「タワーサンド」がオープンしました。

〈タワーサンドの概要〉

2F

「体験で思い出になるワークショップ」で和、洋菓子づくり、寿司の握り方講座、数珠編み教室などのワークショップを体験できるテナントを誘致予定です。

1F

「京都らしい逸品が集まるマーケット」の1階は、京都の有名な和洋菓子や漬物など、お土産ものに最適な品が揃っています。

B1F

「京都を味わう食べ歩きが楽しいフードホール」で、京都の食を堪能できる19店舗があります。食べ物だけでなく、京都の有名な日本酒や地ビールも味わえます。観光客はもちろん、仕事帰りのサラリーマンにも人気のスポットです。



タワーからの眺め



京都の玄関口「JR京都駅」

京の街で三和化工
みつけた！

京都駅で発見

現在の京都駅は、1997（平成9年）に完成し、駅舎としては4代目になります。建築家、原 広司 氏による設計でとても斬新なデザインになっています。京都駅ビルは、高さ地上59.8m、長さは東西470m、南北60～80mで、烏丸通りと室町通りの延長線上に広場を配置し、中央のコンコースを谷に見立てて京都盆地をイメージさせます。内部は吹き抜けになっていて、4,000枚のガラスに覆われ、ところどころが結晶体のようなデザインにもなっています。屋上までは、長いエスカレーターと171段の階段があり、その階段では毎年2月に「JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会」が開催され、80チームがエントリーをして駆け上がるタイムを競います。また、階段下のイベント広場には、クリスマスシーズンになると大きなツリーが飾られます。京都観光の玄関口として、大きな役割を果たしているのが現在の京都駅ビルです。そんな京都駅の南側八条口（新幹線八条口側の改札を出てすぐの階段）に、当社の大きな広告があります。「京FOAM」vol.1とvol.2の裏表紙でご紹介いたしました広告です。定期的に広告の内容を刷新し、少しでも多くの方の目に留まるようにしていきたいと考えております。こんなところにも「三和化工」があったとお気づきになると思います。

【京都駅】

完成：1997（平成9）年
高さ：59.8m

設計：原 広司 氏
鉄道：JR、近鉄、市営地下鉄



京都駅八条口の大きな看板

特許制度の原点

発明などの知的創作に経済的な価値を認めて保護し、その創作活動を奨励するという制度の源は、中世ヨーロッパにあります。

例えば、強国フランスとの対立に苦慮していたイタリアのスフォルザ家には、レオナルド・ダ・ヴィンチが軍事コンサルタントとして雇われていました。その時期にダ・ヴィンチは、ヘリコプター、パラシュート、機関銃、大砲、クレーンなど種々の発明を成し、その都度褒章を得ていたと言われています。発明に対して金銭的な褒章を与えるという制度は、中世ヨーロッパの王侯貴族の間で広く普及していましたが、中世封建社会も末期に至り、財政難のため没落する王侯貴族が増加するにつれて、かかる褒章制度は廃れてゆきました。

これに代わる画期的な制度が発案され実施されたのが、中世から近代に移行する時期のヴェネチア共和国です。金銭的な褒章に代えて、創作者に一定期間だけ独占販売権を与えて保護するという考え方が生まれ、これが特許制度の原点となったのです。



特許制度について

赤澤特許事務所
所長・弁理士 赤澤 一博
Kazuhiro Akazawa

特許制度の沿革

特許制度の骨格は、独占権を付与するという手法によって、国家が財政的な負担を負うことなく発明の保護を図り、発明を奨励して国家の産業発展につなげようとするものです。ヴェネチアで始まった初期の制度は、発明者に10年の独占権を与えて保護するものであり、望遠鏡で有名なガリレオも揚水灌漑装置の特許を取得するなど、ルネッサンスの進展に大きく寄与したといわれています。

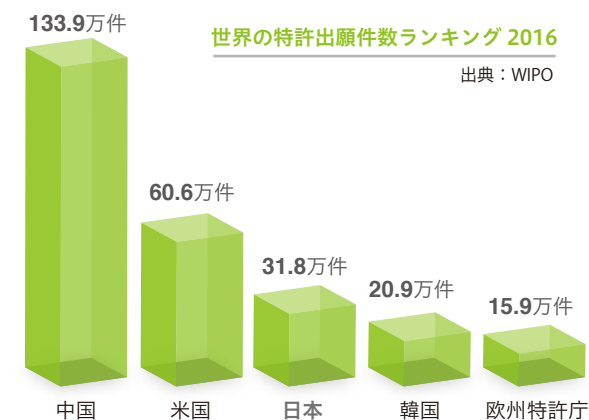
特許制度は、その骨格を維持したままでヨーロッパ全土に広がりました。フランスに伝わった特許制度は、ほとんどの旧制度が廃止された18世紀のフランス革命をも通過し、生き延びて現在に至っています。また、イギリスに伝播した特許制度は、骨格を維持したままで内外人平等の原則という肉付けがなされ、優秀な外国の技術者がイギリスに押し寄せるきっかけを作りました。また、ジェームス・ワットの蒸気機関に関する発明は、装置ではなく、方法の発明でしたが、この方法の発明にも世界で初めて特許を付与するなど、権利付与対象の改善も図られました。その結果、優れた技術者による発明ラッシュが惹起され、18世紀半ばから19世紀に至る産業革命に大きな影響を与えたのです。

かかる特許制度の底力に着目したアメリカは、イギリスから独立した際に、いち早く独自の特許法を制定する体制を整えました。そして、自らも輸送船の発明で特許を取得したことのあるリンカーン大統領の時代に、強力な特許重視政策（プロパテント）

が実施され、19世紀から20世紀における爆発的な米国経済発展の礎が作られたのです。この時期には、エジソンの白熱電球をはじめ、蓄音機、電話、ファクシミリ、ラジオ、テレビ、内燃機関を搭載した自動車、飛行機、プラスチックなど、今日我々の生活に欠かすことができない技術が数多く生まれました。アメリカはその後、大企業による寡占の弊害が問題視された大恐慌の時代に、特許の力を弱める政策（アンチパテント）を採用しましたが、アメリカの競争力低下の原因がかかる消極的な政策にあると結論付けた有名なヤングレポートを受けて、レーガン大統領の時代から再びプロパテントに転換し今日に至っています。

欧米に広まった特許制度は、列強による植民地政策の進展と相まってアジア諸国などにも伝播し、植民地化を免れた我が日本国にも、明治維新をきっかけとして特許制度が発足することになりました。後進国にとって当時の特許制度は、植民地支配の道具としての印象が強く、制度導入に対する反対意見も有力でしたが、我が国では「そんな臆病なことを言っているのは、いつまでたっても一流国になれない」との強い気概のもとで、最先端の特許制度が作られたのです。日本の特許制度は世界基準に合わせて逐次改定され、第二次世界大戦後の我が国の奇跡的な経済復興を縁の下から支えるなど、種々の役割を担って今日に至っています。

一方、中国では、相手のまねをすることは、その相手を尊敬している証であると考え文化が根強く残っており、発明の保護には消極的でありました。



中国が本格的な特許制度を導入したのは、自由貿易圏に参加すべく世界貿易機関（WTO）に加盟したことがきっかけであり、ほんの10数年前のことです。

特許制度と経済発展

最近の統計によれば、2016年に全世界で特許出願された発明の数は約310万件であり、その内の130万件が中国で受理されています。現在、出願件数では、中国が1位、米国が2位、日本が3位となっていますが、“Japan as Number One”と言われていた20数年前は、全世界の特許出願件数の40%が日本国特許庁に出願されていました。特許出願件数とその国の経済発展の加速度との間には強い相関関係があるようです。

また機会があれば、かかる特許制度などを利用した、三和化工株式会社様の発展戦略の一端に触れたいと考えています。

内外国特許・商標・意匠・実用新案
赤澤特許事務所
AKAZAWA PATENT AGENCY

所 長・弁理士 赤澤 一博
副所長・弁理士 宮澤 岳志
弁理士 青山 高明

各種手続に要する費用等については、個別に見積書をご提示させていただきます。ご希望の場合は、お申し付けください。概算価格のご提示も可能です。

見積の例

- 特許、実用新案、意匠、商標に関する各種手続の見積
 - 外国への特許、意匠、商標に関する各種手続の見積
 - 特許権や商標権の移転登録手続に関する見積
 - 先行技術調査(国内調査または外国調査)に関する見積
- (その他、ご要望に応じて必要な見積書をご用意いたします。)

アポイントメントは京都本部にお願い申し上げます。速やかに対応いたします。

〔京都本部〕
京都市中京区烏丸通六角上ル
饅頭屋町617 六角ビル6F
TEL:075-223-6206
FAX:075-223-6207

〔東京ブランチ〕
東京都港区高輪三丁目16番
8-306

www.tokkyo.ne.jp



ソーダニッカ株式会社

<http://www.sodanikka.co.jp/>

〔本 社〕
〒103-8322
東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 5階
TEL：03-3245-1802（代） FAX：03-3241-3709



ソーダニッカ株式会社 機能材営業部 機能材第一グループの三神と申します。

この度は、「京 FOAM」に寄稿する機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

弊社は1947（昭和22）年に設立し、ソーダ製品をはじめ無機薬品、有機薬品、石油化学製品、合成樹脂製品、太陽光パネルなどを取り扱う商社です。国内9事業所（東京、大阪、札幌、仙台、静岡、名古屋、広島、高松、福岡）、物流拠点となるケミカルセンター4ヶ所（釧路、仙台、静岡、広島）、海外3現地法人（インドネシア、中国、ベトナム）のネットワークを活かし、グローバルな営業を展開しております。

2016年より中期経営計画として、10年後の将来に向け長期ビジョン「GO forward」をスタートし、今年は3年目の年となります。

具体的な取り組みとして、組織を変更しました。お客様を「素材産業、環境インフラ、高機能素材産業、ライフヘルスケア、輸送 機械 設備」の5つの事業領域に分けました。商品カテゴリーごとに、基礎化学品営業本部、スペシャリティケミカル営業本部、機能材営業本部の3つに分け、これら3つの営業本部の情報を取りまとめ融合させる「営業統括本部」を設けました。

私の所属する機能材第一グループは、「素材産業、高機能素材産業、ライフヘルスケア」を、隣の機能材第二グループが「環境インフラ、輸送 機械 設備」を担当しています。2016年のスタート時には担当のお客様の数も、取り扱う商品点数も増えててんこ舞いでしたが、営業情報が共有化されることで、問題解決が早くなり、新しい商品の横展開がしやすい組織へと徐々に変わり始めています。自身としては、今までは個人商店的な営業スタイルでしたが、社内で情報共有をしながら既存取引のフォロー、新たなビジネスへの



後列：左から 山田 邦明（リーダー）、柴田 雅巳（グループマネージャー〈GM〉）、上見 清詩（サブリーダー）、牧野社員
前列：左から 星野 貴之、三神 雄義（サブリーダー）、青戸 信彦、小川社員、浅沼社員

挑戦をしながら日々営業に励んでおります。

私の取り扱っている主力商品は、サンペルカとオプセルです。毎日たくさんのお取引がございます。毎日のように、サイズ変更、数量変更、納期変更の依頼があり、お客様の要望に対し、三和化工株式会社様には迅速な対応をしていただいております。

最近印象深かったこととして、大雪が降った時のエピソードがございます。その時には、商品の供給が十分にできないピンチに陥りましたが、営業担当の方に客先フォローと一緒に手伝っていただき、厳しい状況の中、何とか大きなクレームに発展することなく、非常に助けられたのを覚えております。

商社としては、三和化工株式会社様のように、柔軟で迅速に対応していただけるメーカー様とお取引できることは大きな武器となっております。

この場を借りて、日頃ご対応いただいている営業の方々、事務の方々、工場の方々に御礼申し上げます。弊社も柔軟で迅速な対応ができる強い組織をめざし、三和化工株式会社様と共に発展していきたいと思っております。

□会社概要

弊社の前身は、ソーダ薬品の販売統制会社です。1947（昭和22）年に独占禁止法の施工によって統制会社が解体され、「曹達商事」と「新日化産業」が誕生しました。1979（昭和54）年に2社合併し、現在の「ソーダニッカ」となり、今年で創立71年を迎えました。無機薬品、有機薬品、機能材製品、環境関連資材を取り扱っております。

福井工場に粘着加工工場が完成しました！



2018年4月9日から工事を開始し、7月31日には建物ができあがりました。その後、粘着設備を搬入し、危険物一般取扱所としての消防検査にも合格したことから、9月19日に社内での開所式を挙行いたしました。

建物は、粘着加工作業専用の工場です。オプセル、オプシーラーなどの福井工場生産品の粘着加工や、将来的には、当社生野工場生産品に粘着加工を施した製品を西日本地区のお客様にお届けできるように、**月産60,000㎡**の生産をめざしています。

今年1月から製品供給を開始しました。1日でも早くお客様にご納得いただける製品を納品することをめざしています。当社他工場の力も借りながら、試運転を繰り返し、福井工場として粘着技術の習得を行っておりますので、ご期待ください。

※この粘着加工工場で加工できる**最大有効粘着幅は1,300mm**です。
長さについては、別途ご相談をお願いいたします。



垂直入射吸音率・透過損失測定システムの導入



FDC本部に、「垂直入射吸音率・透過損失測定システム」を導入しました。

このシステムは、音響管を使用して、発泡体がつもつ吸音性能（吸音率）と遮音性能（透過損失）の両方を測定することが可能です。**測定可能な周波数帯域は100～4,800Hz**です。当社の発泡体の吸音、遮音性能にご興味のある方は、お近くの営業所までお問合せください。



編集後記 —— 新沢 耕一（管理本部 財務・ソフト開発グループ）

いつも「京 FOAM」をご愛読いただき、ありがとうございます。vol.4では、2018年に開業しました SANWA KAKO VIETNAM をご紹介いたしました。今年は、「平成」から新しい元号になります。新たな気持ちで皆様のお役に立てる情報を「京 FOAM」から発信できればと考えております。

編集メンバー —— 新沢 耕一 / 水野 洋平 / 吉田 龍平

表紙写真：大分県宇佐市にある宇佐神宮の御神木です。国の天然記念物に指定されています。